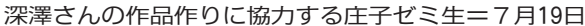




ソフト用いた設計学ぶ

三次元CAD利用技術者試験対策講座



自然体験合宿に参加 子どもたちサポート

人間教育学科の2学生

宮城県内の小・中学生
30人が参加した自然体験
宿泊「サマー・チャレン
ジ in 南三陸」(8月5

11日、宮城県志津川自然の家などに、小学校教員を目指す人間学部人間教育学科2年次の鎌田健吾さん（宮城県利府高）と前田琳太郎さん（宮城県東陵高）が活動補助員として参加し、子どもたちの夏の思い出作

前田さんは「子どもたちの接し方に悩んだ7日間だった。必要な場面で、注意することができなかったことが反省として心に残っている。今回の経験を忘れず、教員に必要な知識やスキルを学んでいきたい」と語った。

た。最後に子どもたちから感謝のメッセージをもたらした時は感極まった。理想の教師を目指し、今後このような活動に参加したい」と話した。

また、ゼミ生たちは会場の一つである「もものうらビレッジ」に3月から何度も足を運び、現代美術家・パルコキノシタさん、美術家・深澤孝史さんの作品作りにも関わった。

ことができた。ものうらビレッジには石巻駅からバスで行くこともできるので、作品に触れてほしい」と話した。

RAFは9月29日（日）まで。庄子ゼミは閉幕までイベントを盛り上げる。

石巻川開き祭り

学生らが盛り上げる

石巻市の夏を彩る「第96回石巻川開き祭り」(7月31日、8月1日)が中心市街地で行われた。

カヌー部の千葉兼汰さん(経営2・宮城県石巻商業高)は昨年に続き、



孫兵衛船艙漕に出場。
「10人の漕ぎ手が息を合
わせるのは難しいが、
年々うまくできるようにな
ってきた。来年も参加
し、予選を突破したい」
と話した。

そろいの浴衣で踊る学生たち（大漁踊り）



このほか、学生会が模擬店を出店し、ダンス愛好会がステージでパフォーマンスを披露した。

学生スマホアプリコンテスト
経営・舛井ゼミ
2年連続奨励賞



最終審査で機能を説明する千葉さん

アプリケーション開発
やWEBサイト制作に取り
組む経営学部・舛井道
晴ゼミが第7回学生スマ
ートフォンアプリコンテ
スト（情報処理学会・C
DS／MBL研究会主
催）に出場。8月29日、
葉山港管理事務所（神奈
川県葉山町）で行われた
最終審査でプレゼンテー
ションを行い、2年連続
で奨励賞に選ばれた。
アプリを制作したのは
千葉奈々香さん（3年次
・岩手県黒沢尻北高）、
三浦聖也さん（3年次・
宮城県石巻北高）、早坂

た。「今回のコンテストで、自分の発想や着眼点に自信を持てるようになった。入賞チームとの違いは『アプリで実践する力』。今後のゼミ活動でスキルアップしていきたい」と話した。